

毎日のお手入れ・クリーニング・保管

本製品は精密機械です。取扱説明書に従い耳の穴・本体・シリコンソフトドームを毎日清掃、耳垢や湿気を取り除き、きれいに保って下さい。耳垢が本体内部に入り込み、固まると除去できず、修理も不可能となりますので、特にご注意下さい。本体をご使用にならない時は、必ず乾燥剤の入った密閉容器に入れて保管して下さい。又、別売の個人用の乾燥器・クリーニング機のご使用が効果的です。

オランダ エクサイレント社 日本総代理店・輸入総発売元



〒106-0044 東京都港区東麻布3-3-9
アネックス麻布十番オフィス3階



お客様ご相談室

TEL : 03-3589-4555

(土・日曜、祝祭日・年末年始を除く平日9:15~17:15)

FAX : 03-3589-5500 (24時間受付)

E-mail : metex-master@metex.co.jp

H P : メテックス 検索

<快適・快聴生活をあなたに>

yTango シリーズ
ワイタンゴ

取扱説明書 (重要・よく読み必ず保管)

(本製品の仕様等は改良・変更のため、改訂されることがあります)

YタンゴPro

デジタル補聴器
軽・中度難聴対応

管理医療機器認証番号:
227AGBZX00024000
品番:XSTYTPR (HFタイプ)
XSTYTPRL (LFタイプ)



(実物大)

YタンゴGo

デジタル聴音補助器
品番:XSTYTG (HFタイプ)
XSTYTGL (LFタイプ)

オランダ エクサイレント社 日本総代理店・輸入総発売元



快適・快聴生活

「聴こえやすさ・使いやすさ・目立たなさ」を徹底的に追及したオランダ エクサイレント社製Yタンゴシリーズをお買い上げ賜り、誠にありがとうございます。

● 良く聴こえる：

オランダとドイツの最新の電子技術と精密技術の結晶。
特許MaRiC(マリック)方式により、集音部(マイク部)と、拡声部(スピーカー部)を一体化、耳と同じ構造を実現。顔の前から来る声・音を耳介で受け、そのまま耳の穴の集音部に伝え、すぐに増幅、鼓膜に伝えます。耳介の後に集音部がある他製品と全く異なり、音のロスがなく、自然に聴こえます。

● とても使いやすい：

さらに、特許エアタップ方式音量調整機能を採用、本体を耳に装着したままで音量を4段階調整できますから、とても便利です。又、面倒な電池交換が簡単にできる収納ケースや拡大鏡をご用意、使いやすい様々な工夫が凝らされています。
声と生活音域を特に増幅するライフサウンド強調機能、ハウリングや突発音を防止するダブルノイズキャンセリング機能を装備、実用性を徹底的に追及しました。

● 目立たない：

世界最小クラスの超小型の本体は、耳穴の奥に納まり、真横や斜め前から見てもほとんど見えません。色も黒色なので、耳奥の暗さに同化して目立ちません。電池部と本体をつなぐワイヤーも極細透明ですから、真横から見てもほとんど気付かれません。アンケートでもご愛用者の98%が目立たない、全く目立たないとご好評です。

本取扱説明書は、読みやすく、判りやすくする為、前半部を簡単マニュアル、後半部を通常マニュアルと分け、できるだけ大きな活字を使用、丁寧語も使用していません。ご了承下さい(尚、価格などのデータは原則として2017年5月現在です)。

補聴器(Proシリーズ)と 聴音補助器(Goシリーズ)の主な違い

詳細はP.36~37を参照

補聴器は医療機器
聴音補助器は一般電気製品です。

Proシリーズは、医療機器認可を取得した医療機器ですから、消費税は免税です。Goシリーズは、一般生活電気製品ですから、消費税が課税されます。

音響利得(入ってきた音をどの程度
増幅出来るか)が違います。

補聴器(Proシリーズ)は、音を軽度難聴レベルから、中度難聴レベルまでカバーできる大きな増幅度があり、専門医や補聴器専門店で難聴と診断された方に適合します。

最初は聴音補助器などで、日常生活に不自由がなかった方でも、聴力は加齢と共に低下しますから、補聴器が必要となることが通常です。聴音補助器で聴こえの低下を感じた時は補聴器へのレベルアップをおすすめします。

聴音補助器(Goシリーズ)は、日常生活や会議などで遠くの人の声が聞こえづらい、テレビなどを聴く時、他の人よりボリュームを上げないと聞こえづらいなど、毎日の生活で聞きとりが以前より不自由になったな、と感じ始められた方の生活音域を、適度に増幅する音量増幅器です。

音響利得など、機能の詳しい仕様については、P.36~37をご参考下さい。

Proシリーズは、 增幅する周波帯域の調整が可能です。

Proシリーズは、難聴の約75%を占めるといわれる高い音が聞こえづらい方に適したHFタイプ(標準品)と、低い音が聞こえづらい方に適したLFタイプの2種類のモデルがあります。特にご指定がない限り、Pro-HFを標準品としてご提供していますが、下記の場合は、Pro-LFをご提供しますのでご連絡下さい。

- ① 事前に耳鼻科などで聴力検査をお受けになり、聴力検査表(オージオグラム)を入手されている場合は、検査表を当社までお送り頂くか、内容をご連絡下さい。
- ② すでにお買い上げになった方でどうしても聞こえが改善されない時は、専門医などの聴力検査を受け、当社お客様相談室まで内容をご連絡下さい。もし、調整が必要と判断された場合は、お手元の製品を当社までお送り頂き※1、お客様の状況に合わせて調整の上、受け取り後3営業日以内に返送しますが、別途規定の調整費※2が必要となります。
- ③ 都内の方は当社へご来社頂ければ、聴力検査し、調整します。

Goシリーズも、Proシリーズと同じHF及びLFの2タイプをご用意、高音域を増幅したHFタイプを標準品、低音域を増幅したLFタイプを準標準品としています。通常はHFタイプをお届けしています。HFタイプで聞こえが改善されない場合は、GoシリーズのLFタイプ又はProシリーズ製品と交換※3させて頂きますので、お客様相談室までお問い合わせ下さい。

※1. 付属の携帯ケース又は小型プラケースに入れて、郵便局のスマートレターにてお送り頂くと180円の送料(2017年5月現在)でお送り頂けます。

※2. HFとLFタイプの交換は、返送料及び消費税込みで3,000円です。HF及びLFの固定周波数以外の周波数調整費用は、状況により5,000~15,000円です(2017年4月現在)。

※3. GoシリーズのHFタイプとLFタイプへの相互交換は返送料及び消費税込みで2,000円です。GoシリーズよりProシリーズへの交換の場合は、希望小売価格の差額をお支払い頂きます。

本機の接続ケーブルは、**右耳用(赤字)**と**左耳用(青字)**がありますので、装着前にご確認下さい。



警告・重要注意

YタンゴProは管理医療機器ですから、ご使用者登録が義務づけられています。保証登録書を必ずお送り下さい。

YタンゴGoも準じた商品ですから、保証登録書をお送りになることを強くおすすめします。

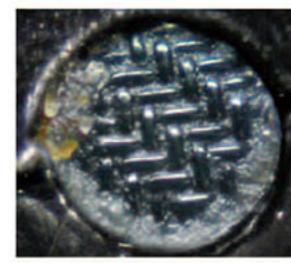
耳垢・湿気は精密機器である本体の大敵。

本体装着前	耳穴を掃除し、耳垢を除去。 必ずサイズのあったシリコンソフトドームを使用。サイズが合わないと、ハウリングが起こったり、耳から外れる。
本体装着中	洗顔・シャワー・入浴は絶対避ける。雨中活動にも注意。
本体脱着後	本体はブラシと柔らかい布で、シリコンソフトドームは柔らかい布で耳垢を除去してきれいにする。本体は乾燥剤入りのケースや、乾燥密閉容器(別売)での保管を推奨。

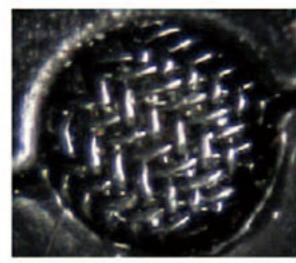
耳垢をちゃんと除去せず、放置すると、固定化して除去できなくなるばかりか、耳垢の湿気が本体内部に侵入し、内部の精密機器を損傷し、修理も回復もできなくなります。

エクサイレント製品の機能低下や不具合の99.5%が、不十分なお手入れが原因となっています。お手入れが不十分な場合は、保証期間内であっても保証修理の対象外となりますので充分ご注意下さい。

専門家と専門機器による定期点検が、高価な製品を永続させるのに効果的です。定期的な点検プログラム、メテックス快聴クラブへのご入会をおすすめします。



耳垢の除去が不十分

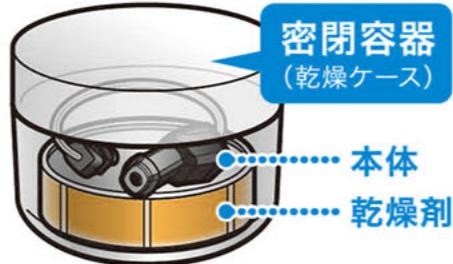


十分に除去されている

！警告・注意

- 1) 本体を耳に装着する前に耳を掃除。綿棒(先端の綿の部分が細めを推奨)で耳穴の周りと入口から1cm位入った部分迄を掃除。奥の方は、先端がしなやかで、肌を傷つけない耳かきで掃除。耳を掃除しすぎて耳の穴の中を傷付けないよう注意。
- 2) ① 耳から取り外した本体とソフトドームの汚れを、柔らかく乾いた布で拭きとる。
② 本体側面のマイクの開口部とスピーカー開口部をブラシで清掃。
③ ブラシの先端を内部に絶対に突っ込まない(内部の精密機器を傷付ける恐れがあるため)。奥にある耳垢などは、吸引器で吸い出すのが理想、家庭用耳クリーナー(別売)の使用を推奨。
- 3) 本体を耳から外した時は、必ず乾燥剤入りの密閉容器に保管。加湿器使用の部屋での保管はできるだけ避ける。保管する時は、必ず密閉容器に入れて保管。

電池は消耗が早くなるので、本体と一緒に乾燥ケースに入れない。



- 4) 本体が水・湿気・高温にさらされないように注意。

- ① 装着したまま、洗顔・入浴・シャワー等はしない。ヘヤースプレー・香水等をかけない。



- ② 水濡れの危険があるキッチン・浴室・洗面所等には放置しない。
- ③ 本機の取扱いは必ず乾いた手で行う。
- ④ 梅雨や多汗になる季節、雨天時に使う時は、本機を濡れないようにし、乾燥状態に保つ。

(別売アクセサリーの乾燥剤と乾燥容器の使用を推奨)

- 5) 本機を火気に近づけず、高温になる場所(夏の車内や窓の近く等)に放置しない。
- 6) ソフトドームを清潔にし乾いた状態を保つ。汚れが落ちない時は、湿った柔らかい布で拭き、内部まで完全に乾かしてから使用。汚れが内部に侵入した時や、傷や摩耗がある時は、新品と交換。自然消耗し、見えない傷等が付くから、1ヶ月で交換を推奨。

(機器・消耗品アクセサリー等の推奨品は当社へ問い合わせ)

補聴器・聴音補助器を貴方の体の一部とするには！

補聴器・聴音補助器は貴方の耳の機能の衰えをカバーする便利な機器ですが、皮膚よりも固い素材で出来ています。装着されると、最初は固さに違和感を感じられます。又、周波数等様々な要素がある複雑な機器です。この点をご理解頂き、最初は完全にフィットせずご不満を感じられるかもしれません。しかし、ソフトドームのサイズを変える、装着する際、口を大きく開けるなど、取扱説明書にそって、よりよくフィットするよう工夫して下さい。最初少し違和感があっても、少しがまんしてお使い頂ければ徐々にフィットして、慣れてきます。エクサイレント製品は、お求めやすい価格にもかかわらず、基本性能に優れ、アンケートではお客様ご満足度が93%(2017年4月現在)以上ととても高く、お客様にご満足を頂いております。末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

本機が適合しない方：

耳の病気がある方は着用前に耳鼻科の医師と相談。特に湿疹性の外耳道湿疹や中耳炎の方は、要注意。ペースメーカー使用中の場合は医師にご相談下さい。

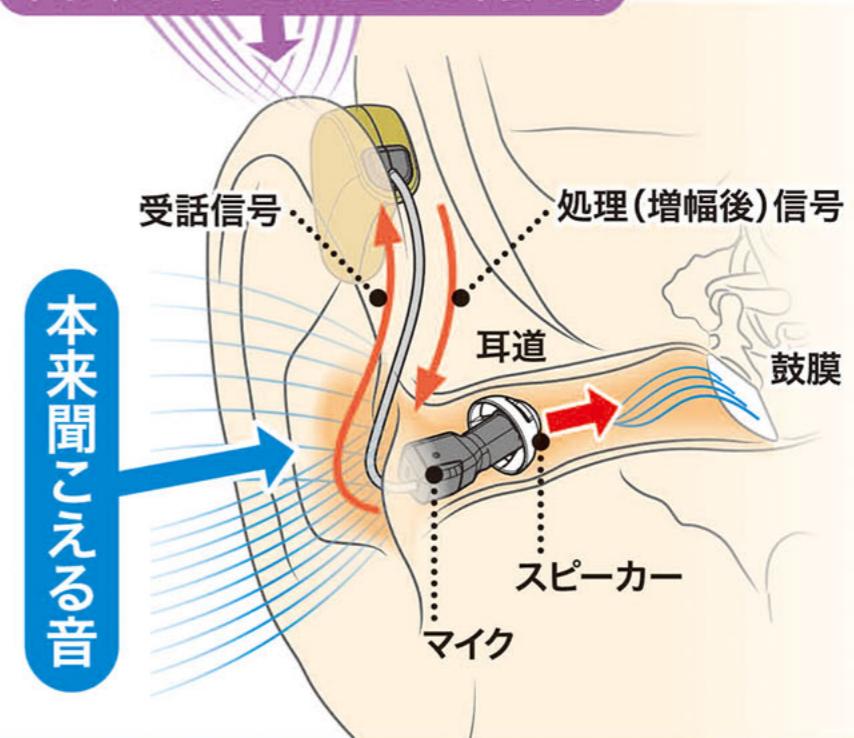
目次

快適・快聴生活	1
補聴器(Proシリーズ)と聴音補助器(Goシリーズ)の主な違い	2~3
⚠ 警告・重要な注意	4
⚠ 警告・注意	5~6
補聴器・聴音補助器を貴方の体の一部とするには!	6
なぜYタンゴが、自然によく聴こえるのでしょうか!	8
内容物	9~10
<簡単マニュアル>	11
<詳細マニュアル>	
① 内容物の確認	11
② 耳穴の掃除	11
③ 電池の装着	12
④ ソフトドームの装着	13
⑤ 本体とアンプ・電池収納部の接続	14
MaRiCモジュール部のワイヤー長さを選ぶ	15
⑥ 耳への挿入と取り出し	16~17
⑦ 音量調整(特許エアタップ)	18~19
⑧ 耳からの取り出し、本体からの電池の取り出し	20
故障かな?と思ったら。不具合(ハウリング等)	21~22
両耳装着	23
⑨ お手入れ方法と消耗品交換	24
収納ケースを使った空気電池交換方法	25~26
収納ケースと内容物	27~28
⚠ 空気電池の特徴と取扱	29~30
⚠ ご注意	31~32
保証規程(要登録) 持込修理	33~34
推奨事項・用品	35
仕様	36~37
Yタンゴを貴方の友として末永く、快適にご使用頂くために!	38
快聴クラブにご入会下さい	38
シリアルナンバー	39
???チェックリスト	40
エクサイレント補聴器・聴音補助器ラインアップ	41~42
パイオニア補聴器・聴音補助器ラインアップ	43~44
毎日のお手入れ・クリーニング・保管	47(裏表紙)

なぜYタンゴが、自然によく聴こえるのでしょうか!

マリック
特許MaRiC方式により、音をとらえる集音部(マイク)、音を拡大するスピーカー部を一体にして超小型化、耳道奥への挿入が可能となったため、本来聴こるべき音を、集中的に集音し、直接鼓膜に伝えるからです。

本来耳たぶ等でさえぎられる不要な音

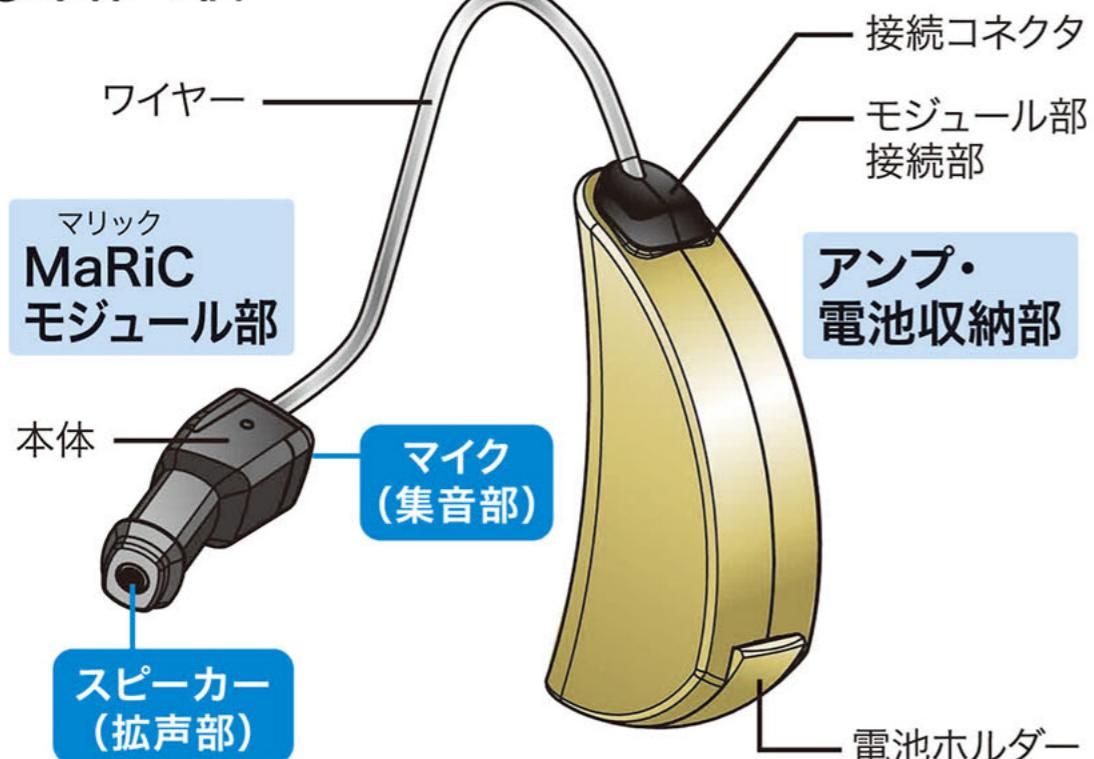


Yタンゴは、「音を集める(マイク)」「音を増幅する(スピーカー)」の重要な2つの機能が耳の穴に収納されています。これはエクサイレント社の特許で、他社の耳掛式補聴器にないすぐれた特徴です。他社の耳掛式補聴器は、耳たぶの後ろに、マイクとアンプが置かれている為、顔の正面から来る声や音が耳でさえぎられ、十分集音できません。集音し拡幅した音を耳の後ろから耳の穴へチューブを通して物理的に送るため、ロスが生じます。Yタンゴは集音・拡声機能が耳の穴の中に集中、自然にとても良く聴こえます。

内 容 物

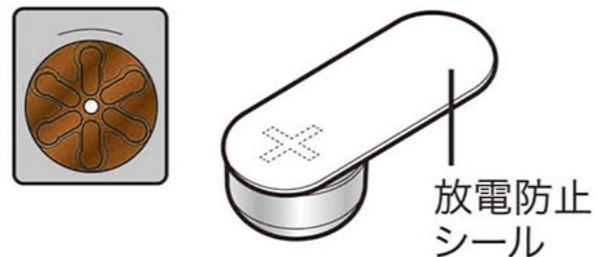
下記の内容物が全てそろっているか、すぐに確認。

①本体 1個



②空気電池

型番: PR41(1.4V)
1パック(6個入)

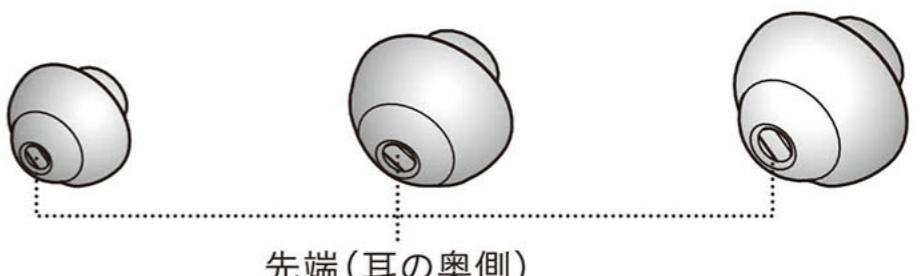


③シリコンソフトドーム(クローズ型) 計3種類

Sサイズ 1個

Mサイズ 1個

Lサイズ 1個

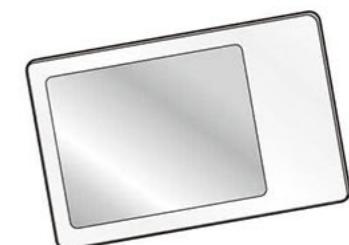


④収納ケース

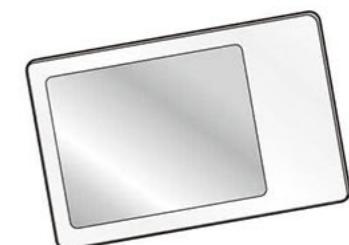


(2017年7月以降、本収納ケースに加え、更に小型の収納ケースを追加予定です)

⑤乾燥剤 2個



⑥拡大レンズ



⑦電池取り出しスティック兼 クリーニングブラシ

(先端をマイク部に突っ込まない)

(ロットによっては別途電池取り出し
スティックが付属している時があります)



⑧取扱説明書(本書)

⑨保証申込書(別紙)

⑩添付文書(別紙・Proのみ)

①～⑦までは、収納ケースに入っています。

(改良・改善の為、アクセサリー類の形状や数量が変更される事があります)

<簡単マニュアル>

- ① 内容物が全てそろっているか確認(P.9~10)
- ② 耳穴を掃除(P.11)
- ③ 電池をアンプ・電池収納部に装着(P.12)
- ④ ソフトドームを本体にかぶせ、耳の穴に入れて最もフィットするサイズのソフトドームを選ぶ(P.13)
- ⑤ 本体とアンプ・電池収納部をコネクターで接続(P.14)
- ⑥ 本体を耳穴に挿入し、アンプ・電池収納部を耳の後ろに掛ける(P.16~17)
- ⑦ エアータップ方式で音量を調整(P.18~19)
- ⑧ 使用後は本体及びアンプ・電池収納部を取り外し、電池も取り出す(P.20)
- ⑨ 本体及びソフトドームを清掃して乾燥状態で保管(P.24)

<詳細マニュアル>

1 内容物の確認

※内容物が全てそろっているか確認(P.9~10)

2 耳穴の掃除

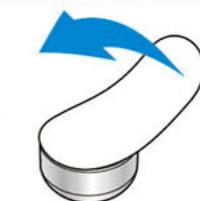
本体を耳に装着する前に耳を掃除。綿棒(先端の綿の部分が細めを推奨)で耳穴の周りと入口から1cm位入った部分迄を掃除。奥の方は、先端がしなやかで、肌を傷つけない耳かきで掃除。奥まで先端を入れたり、強くかいて肌を傷つけないよう注意。

3 電池の装着

- ① 電池の+側に貼られたシールをはがし、そのまま約3分放置(図1)。

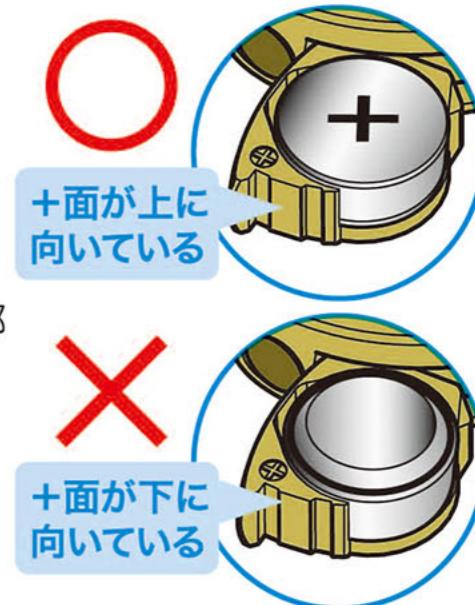
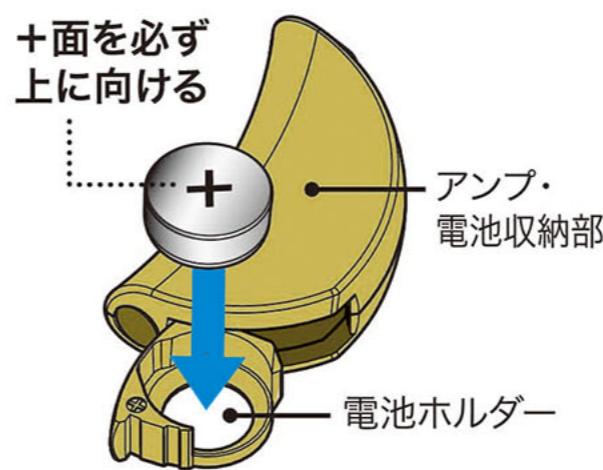
図1

シールを
はがす。



- ② 空気電池の+側を上に向けて、本体の電池ホルダーへ挿入(図2)。電池を反対向きに入れた場合は、一旦取り外し、3分置いてから正しく入れ直す。電池ホルダーがアンプ・電池収納部へすっきり入らない時は、電池が正しくホルダーに挿入されているか確認。

図2



- ③ 空気電池をセットした後、電池ホルダーのふたをカチッというまで閉じる(図3)。

収納ケースを使った空気電池交換方法はP25~26参照

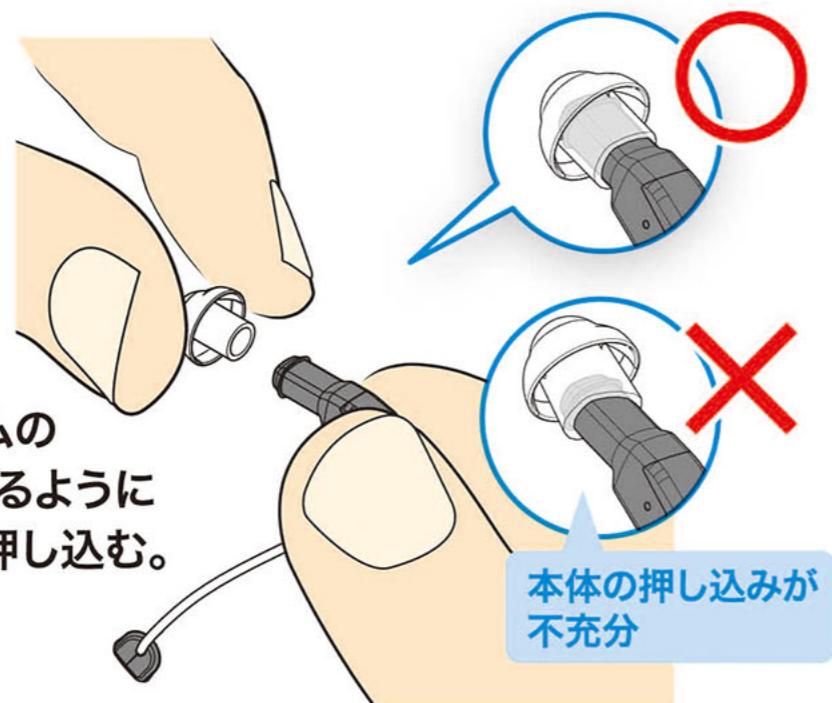
図3



4 ソフトドームの装着

- ① まずMサイズのソフトドームに本体を装着してから(図4)、ドーム部が耳の奥まで入るよう、ゆっくりと耳に挿入。
- ② Mサイズで耳の奥まで入らなければ、Sサイズのソフトドームを装着。
- ③ Mサイズのソフトドームで耳の穴の中で固定されず動くようなら、Lサイズのソフトドームを装着して試す。

図4

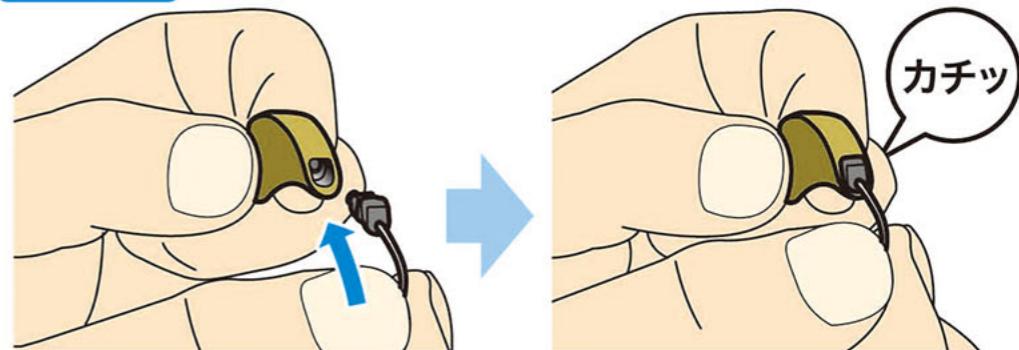


ソフトドームを外すときは、ソフトドームの先を持ちながら、指で引き抜くようにして外す。

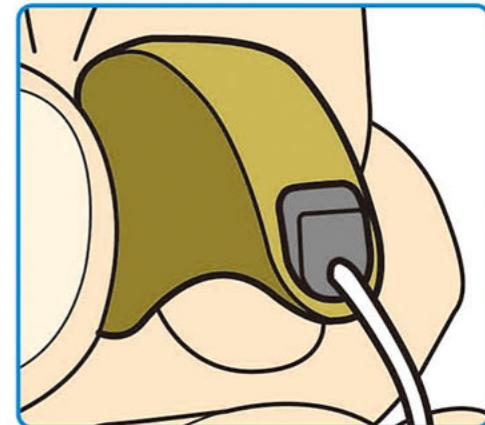
5 本体とアンプ・電池収納部の接続

- ① MaRiCモジュール部の接続コネクタの、向きを図のように確認し、Yタンゴモジュール部の接続部へ差し込み、カチッという感触があるまで奥まで押し込む(図5)。

図5



拡大図



- ② 挿入後、MaRiCモジュール部のワイヤー部分をごく軽く引っ張り、容易に抜けないことを確認。容易に抜けてしまう場合は、接続コネクタの方向と接続部の穴の形状が合っているか、再確認し再度押し込む(接続したまま繰り返しご使用頂いても問題ありません)。

MaRiCモジュール部のワイヤー長さを選ぶ

- ① MaRiCモジュール部のワイヤーの長さは、4種類。標準はLサイズが付属。ワイヤーは柔軟性があるので長めでの対応が望ましいが、MaRiCモジュール部がどうしても耳穴まで届かない時、ワイヤー長さが長すぎて外れやすい時などは別サイズのワイヤーへの交換を輸入代理店に連絡。1回に限り、無償でご希望のサイズに交換します。
- ② ワイヤーの形状は左右の区別があるので、注文時に指定した通りの右耳又は左耳のワイヤーが付属されていることを色で確認する(図6)。

左右識別(サイズ表示の色)	
赤	右耳用
青	左耳用
ワイヤー長さ	
S	43 mm ミリメートル
M	49 mm ミリメートル
L	55 mm (標準付属) ミリメートル
XL	61 mm ミリメートル

* 例えば、図6のように文字が「L」なら長さ55mmで、文字の色が青なら左耳用となる。

ワイヤーサイズの変更、左右形状の変更に関するお問い合わせは当社お客様ご相談室まで。

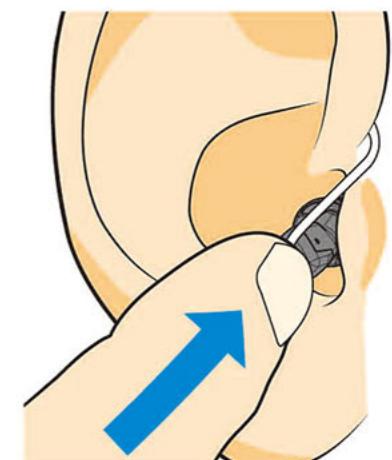


図6

⑥ 耳への挿入と取り出し

- ① 耳垢・湿気は精密機械の大敵。本体挿入前に、綿棒で耳穴の外側回りと入口付近をきれいに掃除。綿棒を奥へ入れると、耳垢を中へ押し込み、却って耳垢が本体に付着する原因となるので注意。耳の奥は耳かき等でやさしく清掃。
- ② Mサイズのソフトドームが装着されている本体の先端を耳の奥に向かってゆっくり差し込み、止まったところで本体の耳穴へのフィット感を確認(図7)。

図7

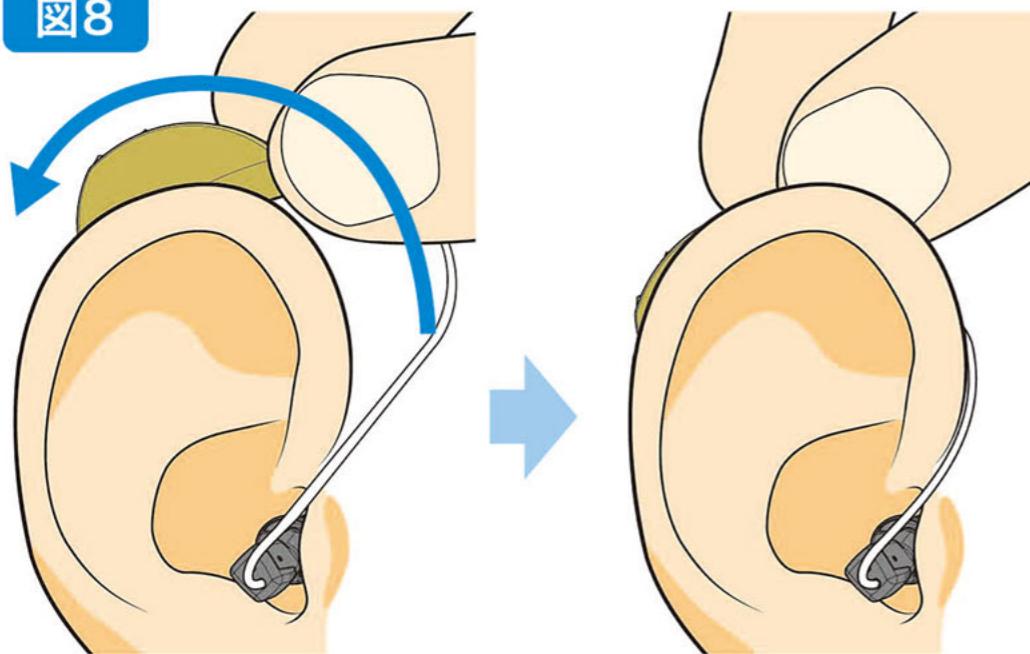


もし耳の中で上下左右に動くようであれば、ちゃんとフィットしていないので、ワイヤーを軽く引っ張りながら本体を取り出し、異なったサイズのソフトドームを装着してからもう一度耳の奥へ挿入し、フィット感を試し、最もフィットするソフトドームをS・M・Lの3サイズの中から選ぶ。

③ MaRiCモジュール部を耳穴に挿入後、ワイヤーを耳に沿わせながらアンプ・電池収納部を耳の後に、装着する(図8)。

装着後、軽く頭を動かし、MaRiCモジュール部が耳穴にしっかりと固定されていることを確認する。

図8



④ ソフトドームのサイズが合っていないかったり、耳穴へ充分押し込まれていないと、ソフトドームと耳穴の間にすきまが出来、ハウリング(ピーピー音)の原因になる。

※ 挿入前・挿入中は、まだフィットしていないので、ハウリングが起きることがあるが、装着するとすき間がなくなり、ハウリングが解消する。

⑤ しつかりフィットしない時は、口を大きく開け、あごを上下に動かしながらMaRiCモジュール部を指で押すと耳奥にフィットしやすくなる。

7 音量調整(特許エアタップ)

耳の外側15cm位の位置で、手のひらを少し軽く内側に丸め、空気を耳穴に送るように指先を振りながら、耳に軽くふれる程度にすっと寄せる。1回毎に音量が1段階ずつ調整される。

① 電池を挿入し、耳に装着した使用開始時は、自動的に**最低音量1**にセットされている。耳に装着後、耳穴に風(空気圧)を送ると音量が調整される。

② 手のひらを少し丸め、耳の外側から耳穴に向かって、手のひらをすっと耳元に寄せる(図9)。十分な風が送られると、最初は**ピッピッと2連続音**が聞こえ、音量2に上がる。もう一度風を送ると、**ピッピッピッと3連続音**が聞こえ、音量3に上がる。もう一度風を送ると、**ピッ音が4回連続で聞こえ、最大音量4**になる(図10)。ピッ音が聞こえない時は、音量が上がっていないのでもう一度試す。

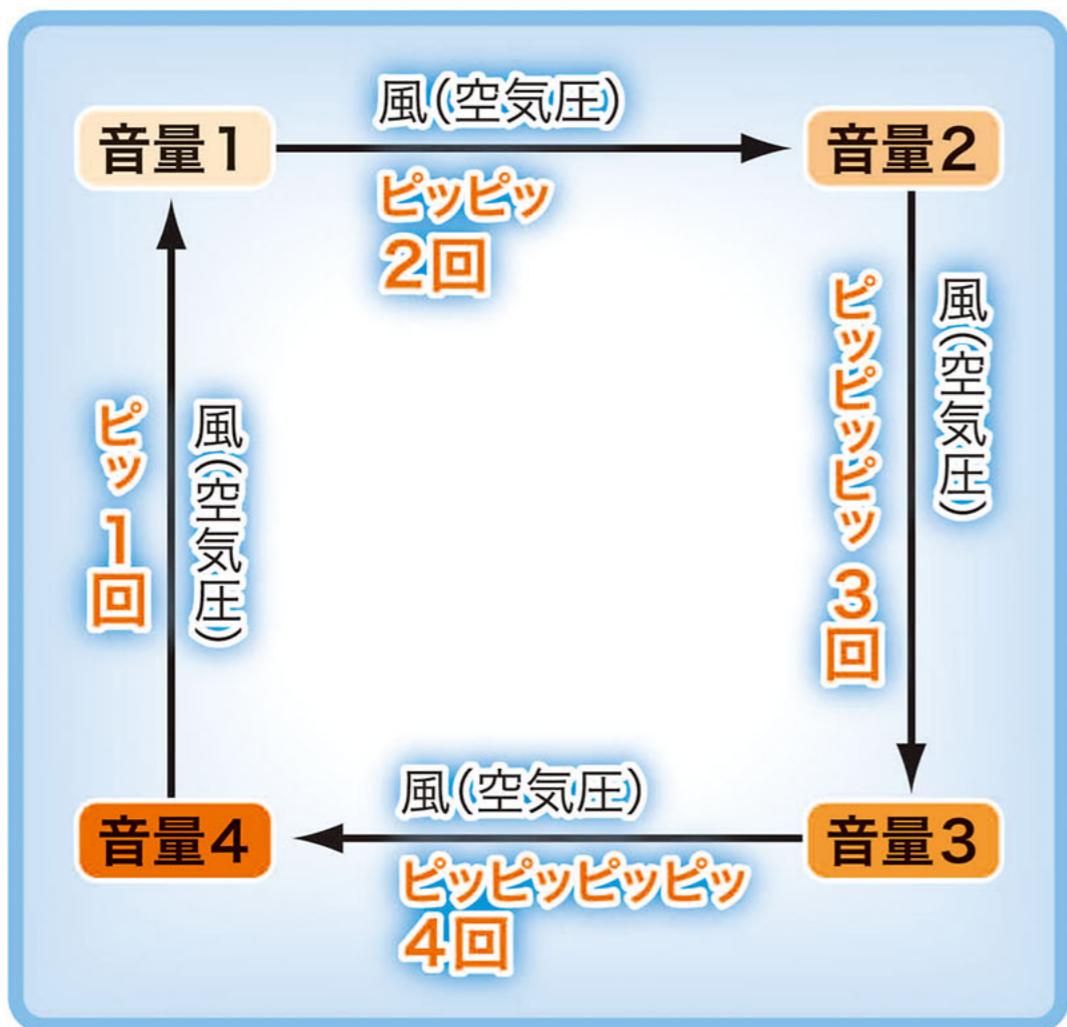
図9



③ 上記の方法で音量が変えられない時は、親指以外の4本の指先をまとめ、耳の穴回りを軽く叩くようにすると音量が変更される。

- ④ 最大音量になった後、もう一度風を送ると、ピッと1回だけ音が聞こえ、最初の最低音量1に戻るから、本体を装着したままで耳から外さずに、最適音量が選べる。

図10



- ⑤ 一旦電池を挿入すると、電池の消耗を防止する事はできないが、電池ホルダーを半開きにするとオフになり、さらに電池を本体から取り外し、電池の+の表示のある面に最初に貼ってあった粘着シールを貼つておくと、電池の消耗が多少低下する。

⑧ 耳からの取り出し、 本体からの電池の取り出し

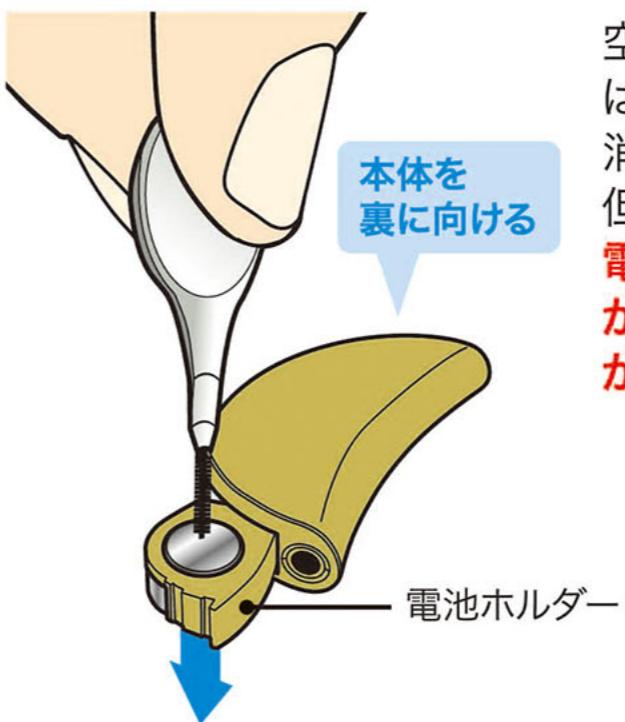
耳からの取り出し

細いワイヤーを少し引っ張り、本体が耳の外へ出てきたら、本体をつまんで取り出し、アンプ・電池収納部と一緒に耳から外す。

電池の取り外し

電池ホルダーを図のようにスライドさせて開き、細いスティック等で電池を取り出す(図11)。

図11



空気電池は、一旦シールをはがして使用を開始すると、消耗を止められない。但し、**使用していない時は、電池をアンプ・電池収納部から取り外すと、消耗速度が低下する。**

故障かな?と思ったら。 不具合(ハウリング等)

ハウリング音(ピーピー音)が発生した時

使用中にハウリング(ピーピー音)が発生すると、本来の音が聞こえず、使いづらくなる。原因と解決方法は下記の通り。解決しない時は、輸入総発売元に相談。

●本体がソフトドームにしっかりと、ぴったりと入っていない(P13参照)

- 本体がソフトドームの奥まできちんと挿入されず、間に隙間がある→本体を指などで押し込んで、ソフトドームの奥底までしっかりと挿入。

●本体を収納したソフトドームと、耳穴の間に隙間がある(P16~17参照)

- ソフトドームが耳穴の奥まできちんと挿入されていない→指先で本体を押し、耳の中へ少しづつ押し込む。
- ソフトドームと耳穴の間に隙間がある→ソフトドームを持ち、挿入角度を上下左右に変える。
- ソフトドームのサイズが耳道に合わない→別のサイズのソフトドームに交換する。

●音量が大きすぎる (P18~19参照)

エアタップを使って、音量をハウリングが解消するまで下げ、聞き取れる最低音量に調整。

- ソフトドームを長期間使用したり、劣化・損傷した時
(お手入れ方法と消耗品交換 P24参照)
新しいソフトドームに交換。

音が聞こえない・音量が低い

●電池消耗・破損等の可能性:

新しい電池と交換。電池を本体に入れたままにしておくと、膨張・液漏れ等により本体が損傷する事があるので、使用しない時は電池ホルダーを開けておく、もしくは電池を本体から取り出して収納ケースに入れて保管する。

●電池を入れても音がしない:

電池ホルダーを本体にしっかりと収納しないと作動しません。電池を、電池ホルダーに+の面を上に向けて正しくセットしているか確認。電池を逆さまにセットすると、電池ホルダーを本体に収納出来ません。

●耳垢が本体のマイク部に詰まる:

本体をソフトドームから取り出し、マイクとスピーカーを付属のブラシで掃除。ソフトドームもやわらかい布で拭く。傷が付いたらソフトドームを交換。

●音量が不十分:

エアタップを使って音量を上げる。

ご愛用者の統計(2017年4月現在)では、不具合の99.5%がお手入れが不十分な為の耳垢の堆積が原因です。お手入れ不足による不具合・故障は有償修理となります。毎日のお手入れを欠かさないで下さい。

両耳装着

自然で快適な聞こえを楽しむ為に、Yタンゴの両耳装着を推奨。

両耳に装着すると、左右の耳で聴力レベルに差がある事がある（視力と同じ）ため、ピッ音の音量が異なって聞こえる事がある。その時は、左右の音量を調整して、耳ごとの聞こえるレベルを調整。

左右の聞こえの違いは、電池の消耗度によって異なることもある。両耳装着で聞こえの違いを感じた場合は、まず右耳のみに2個のYタンゴの内1個を装着、聞こえのレベルを確認した後、電池を本体から取り出し、残りのYタンゴにセットし、同じ右耳に装着し、聞こえのレベルを確認する。

どちらかの聞こえのレベルが異なった時は、低い音量の方の電池が消耗しているので新しい電池に交換。

日本の補聴器装着率は約20%と欧米の40%の半分以下。これは、日本の多くの補聴器が、非常に高価なためと思われますが、Yタンゴは両耳装着しても、多くの補聴器の片耳よりお求めやすい価格に設定されています。ぜひご自身の耳と同じように、ステレオで自然に聞こえ、耳への負担も軽減される両耳装着をお試し下さい。片耳装着時に、良く聞こえるよう装着側の耳を前方に出し、首を傾げる不自然な動作もなくなり、さらに故障や整備の時にも、片方が手元に残り、不自由さが軽減されます。

9 お手入方法と消耗品交換

●本体

乾いた柔らかい布（ガーゼ等）で拭き、側面のマイク・スピーカー部のスクリーンは、付属のクリーニングブラシで固まった耳垢などを払い落とす。内部の精密機械を傷つけるのでスクリーンの中に針や爪楊枝などを、絶対入れない。使用しない時は本体は乾燥密閉容器（別売）等に入れて保管。

●ソフトドーム

毎月1回柔らかい布（ガーゼ等）で拭いて汚れを拭き取る。
汚れがひどい時はぬるま湯で軽く洗い、内部も完全に乾燥させてから本体を装着。汚れが落ちなくなったり傷が付いた時は、すぐに新品と交換。自然摩耗したり傷がつくるので1ヶ月程度で交換。

●電池の交換

電池が消耗すると、使用中にピピッと警告音が3回鳴ります。更に使い続けるとピピッと警告音が6回鳴り動作が停止します。このような時は、すぐに新しい電池と交換。電池は一日12時間使用で約12～13日間で消耗。消耗した電池は放置すると膨張して取り出せなくなったり、液漏れし本体を損傷するから、電池がなくなったらすぐに本体から取りだし新品と交換。電池は必ず推奨品を使用。一度シールをはがした電池は本体を乾燥させる乾燥剤と一緒に密閉保管すると、消耗が早くなるので、別に保管。

●バッテリーチェッカー（別売）の使用を推奨。

収納ケースを使った空気電池交換方法

空気電池を本体にセットするのに便利な、Yタンゴ専用ケースの使い方

● 電池を入れる時

①お届けした時点で、本体の電池ホルダーは下図のように引き出され、すぐに電池を入れられる状態になっている(図12)。

もし引き出されていない時は、本体を収納ケースから取り出し、電池ホルダーを指先で引き出します(P.12 図2参照)。

図12



収納ケースに本体がセットされている状態

②空気電池を1個取り出し、必ず+面を上にして、電池ホルダーに挿入する(図13)。

図13



● 電池を外す時:

図14のように本体を裏返して、収納ケースのフォームの上に置く。

クリーニングブラシの先端で空気電池の+の部分を押し、電池を本体から取り外す。

図14



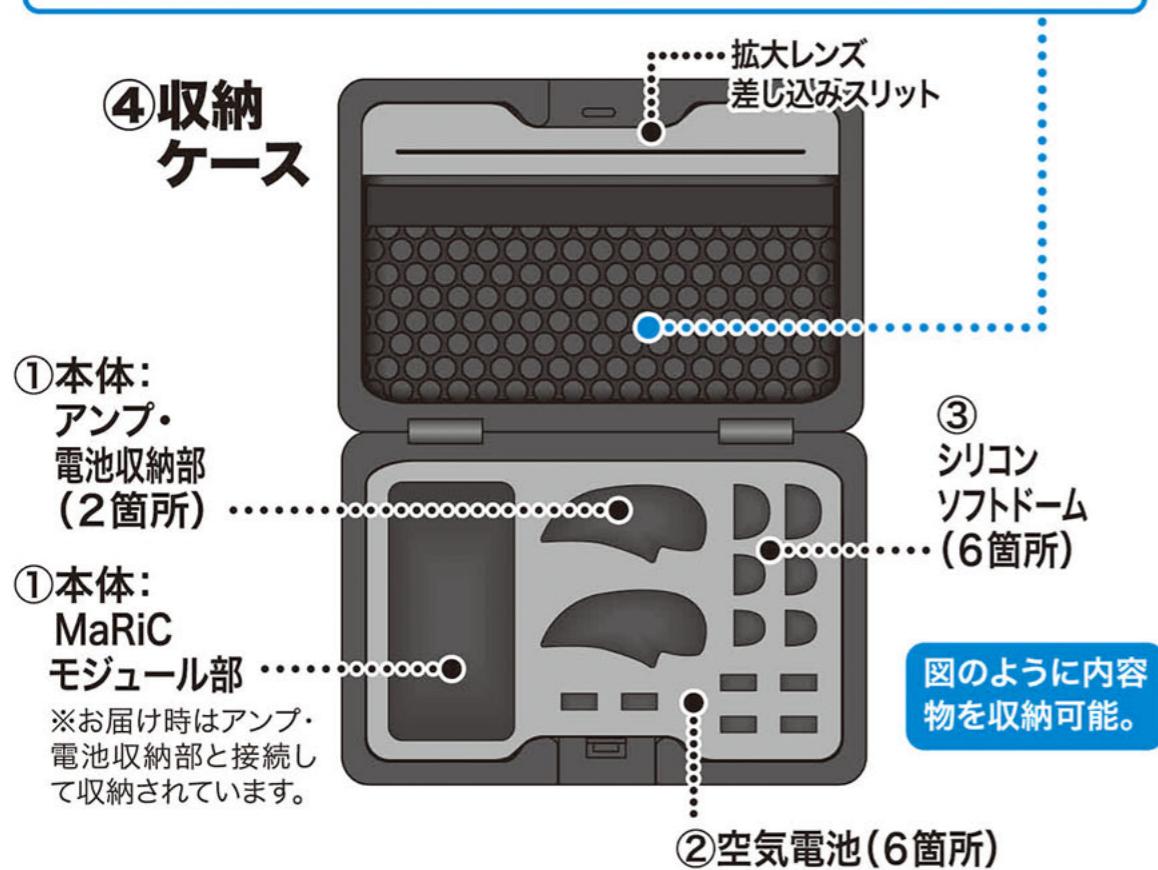
その際、収納ケースの大きい穴の上で作業すると、取り出した空気電池をなくしにくくなり便利。

電池は消耗が早くなるので、本体と一緒に乾燥ケースに入れない。

※ 注意

本製品を使用しない時は、電池を取り外して保管した方が、電池が多少長持ちする。取り外した電池を、乳幼児が誤って飲み込まないように、取り外したまま放置しない。

収納ケースと内容物

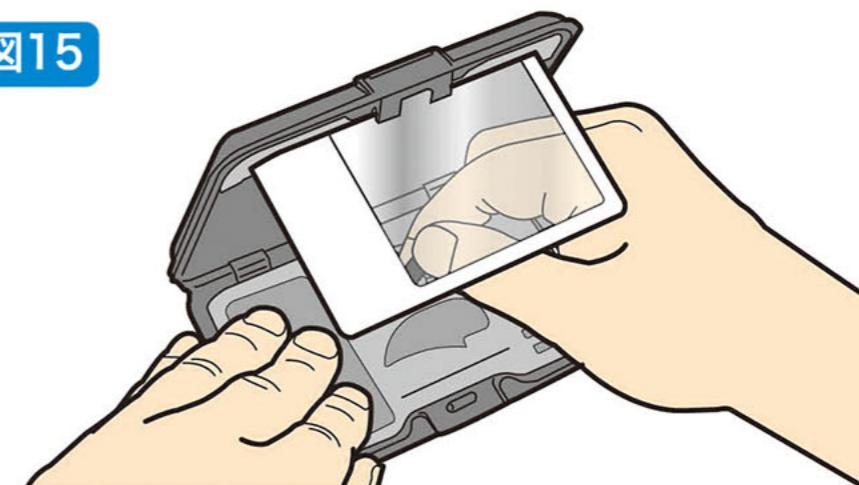


最初にお届けした時は、空気電池は密閉パッケージに入っていて、かつシールが貼られていますから、携帯ケースの中の乾燥剤による影響を受けませんが、シールをはがした状態では、乾燥剤の影響で消耗が早まります。ご使用の状況に応じて電池だけを別の容器に保管するか、電池をはずした本体を、別の乾燥剤入りの容器に保管して下さい。

● 拡大レンズを使用して電池交換する

- ① 拡大レンズを、収納ケース上ふたの内側にあるスリットに横向きに差し込む。レンズを覗き込み、対象物が見えやすい角度に設定する。
- ② 収納ケースを動かないよう片手で押さえながら(図15)、電池を本体に挿入したり、取出します。収納ケースを使用すると便利です(P25~26)。

図15



- 自然な良い聴こえの為に両耳装着を推奨。本体が2個あると修理・メンテナンスの時にも便利。
- 収納ケース同梱の乾燥剤は、お手元にお届けする迄の乾燥用。使用開始後の本体乾燥保管のためには、別途乾燥密閉容器と乾燥剤購入を推奨。
- シールをはがした空気電池は、使用しなくても電池寿命が短くなりますのでご注意下さい。
- 内容物の形状や数量については、メーカー都合により変更される事がありますのでご了承下さい。



空気電池の特徴と取扱

① 空気電池は、シールをはがすとすぐに放電・消耗が開始され、放電・消耗は中断できない。

- 本体に装着し使用していると、消耗は加速され、使用出来る目安は、1日12時間連続使用で約12～13日間程度。
- 空気電池は、本体に装着していないシールをはがすと、放電・消耗は継続、但し使用しない時は、電池ホルダーを開けて保管すると消耗速度が多少遅くなる。電池は乾燥剤と一緒に密閉保管すると消耗が早くなるので別に保管。

② 空気電池は、ストーブなど空気が乾燥したり、換気が悪く二酸化炭素の多い部屋などや、温度の高いところでは、消耗が早くなる。

- 一旦シールをはがした電池は、乾燥剤が入った乾燥ケースや、密閉容器等で保管しない。乾燥した場所には置かない。
- 高温多湿や日光の当たる所に保管しない。

③ 使えなくなった電池はすぐに本体から取り出し、新しい電池と交換。放置すると、電池が膨張して取り出せなくなったり、電池から液漏れし、機器に損傷を与える事がある。

- バッテリーチェッカー(別売)を使用すると、電池残量を簡単にチェックできる。

④ 電池は誤った使い方により、故障や不具合(液漏れ、破裂、発火など)を起こすので、下記に注意。

- 通常の空気電池は絶対に充電しない。
- 電池を入れる方向を間違えない。
- 長期間使用しない時は、電池を取り外す。
- 電池を金属製の物と一緒に保管せず、接触させない。
- 電池を液体で濡らしたり、濡れた手で触らない。
- 使用後の電池の破棄は、各自治体の条例に従う。

⑤ 液漏れした時は、絶対に手で触らない、ピンセットなど金属製の器具でつまみ出すか、押し出して、紙などで包んで破棄。万一漏れた液が、目・皮膚・衣服などに付いた時は、すぐに大量の水で洗い流す。特に身体に付いた時は、医師に相談。

⑥ 空気電池の予備を十分に用意して置く。

⑦ 電池は乳幼児が誤って飲み込まないよう、手の届かないところに保管。

空気電池は補聴器の性能に影響を及ぼしますので、必ず下記メーカー品をご使用下さい。「空気電池のPR41」と指定して下さい。ご不明の場合は、当社お客様相談センターまでお問い合わせ下さい。

尚、当社製品に標準付属及び当社が販売する空気電池は全て推奨品です。

- Power One(ドイツ ファルタ社)
- Rayovac(アメリカ レイオバック社)
- 上記メーカーのOEM(補聴器メーカー或いは大手家電メーカー名の製品)

！ご注意

本品を日常生活で長時間着用する事による、耳への悪影響を避けるために音量を控え目にし、下記に注意。

- ① 高い音量で長時間使用し続けない。周囲が常に大音量の環境下では使用しない。大きな爆発音や突発音が発生する所(例:鉄工所等の大音量が発生する作業現場など)では使用しない。
- ② 耳鳴りがするようになった時は、音量を下げるか、使用を中止し、耳鼻科の医師に相談。
- ③ エアータップ動作の際には耳自体を強くたたかず、たなごころで空気を送るようにし、耳には軽くふれる程度にする。

本品は精密機械。落としたり、衝撃を与えたる、又、定期的に手入れをしないと、故障の原因になる。常に耳の中と本体及びソフトドームを清掃、丁寧にやさしく取り扱う。

- ① 本品装着前に、必ず耳の中を耳掻きや綿棒で掃除。
(耳垢など分泌物は個人差はあっても必ず発生)
- ② 本体に付着した目に見えない湿気を乾かし、製品と電池の寿命を長持ちさせるため、就寝時など定期的に使用を中止、電池を本体から取り外し、本体(乾燥剤入り密閉容器を推奨)と電池を清掃して保管する。
- ③ 絶対に落としたり、ぶつけたりせず、丁寧に扱う。収納ケースの中では転がら無いように固定する。
- ④ 定期的に柔らかい布や付属のブラシで本体とソフトドームを掃除する(P24 ソフトドームのお手入れ方法参照)。洗剤やティッシュは使用しない。

- ⑤ 水がかかりやすい所、水気や湿気の多い所で使用したり保管しない。
- ⑥ 本品を装着しての洗顔、シャワー、入浴は絶対避ける。
- ⑦ 耳への装着時、ヘヤースプレー・トニック、化粧水、香水等がかかるないように注意。又、入浴、水浴、洗顔、スプレー等の後は、綿棒で耳の掃除をし、湿気を除去。
- ⑧ 本体を耳に装着する際は、必ず付属のソフトドームに入れた状態で使用。本体を直接耳に入れると、充分に性能が発揮されない、耳から取れなくなる、ハウリングが発生する、汚れやすくなる、耳に損傷を与える等の不具合が発生するので、絶対に直接耳に入れない。万一取れなくなった時は、自分で指で搔き出そうとせずに、すぐに耳鼻科の医師に相談。
- ⑨ 耳に傷やできもの、その他の不具合や障害がある方、耳の病気の方、大量の耳垢、湿った耳垢が溜まる方は、使用前に本品の使用が適切か、耳鼻科の医師に相談。
- ⑩ X線検査、CT、MRI等X線や電磁波などを使用する医療検査を受ける時は、本品を耳から外す。
- ⑪ ソフトドームに傷がついたり、変形した時は、すぐに交換。使い続けると、ハウリングを起こしたり、耳の内部を傷つけたり、病気になる事がある。
- ⑫ 本体、ソフトドーム、空気電池はごく小さいので、乳幼児が飲み込まないよう、手の届かない所に保管。収納ケースでの保管を推奨。

—保証規程(要登録)—

持込修理

＜保証要件＞

- 本商品は、微妙な構造を持つ耳道への装着商品です。お買い上げ後の各種ご連絡のため、必ずお買い上げ後2週間以内に付属の保証登録書に必要事項を記入の上、当社宛にお送り下さい。保証申込書を受領次第、正規の保証書をお送りします。

下記**保証は、当社よりお送りした「保証書」と、
お買い上げ時の領収書両方のご提示が必要**となりますので、大切に保管して下さい。又保証対象は、当社が日本国内で販売した、正規輸入品記載のシリアルナンバーと同一の製品に限ります。

- 故障や不具合の原因が、製品不良と判断された場合は、修理又は同等の代替品と交換させて頂きますが、それ以上の補償並びに責任は負いかねますので、ご了承下さい。

＜保証期間＞

- お買い上げ日より1年間。修理・交換後も保証期間は最初のお買い上げ日より1年間と致します。修理ご希望の際は、上記保証書と、お買い上げ日を証明する領収書又は送り状をご提示下さい。これらの書類の確認が出来ない時は、保証いたしかねますので、書類などを大切に保管するようご注意下さい。

＜持込修理＞

- 修理ご希望の場合は、お買い上げ後2週間以内に判明した初期不良を除き、お客様ご自身で、当社又はお買い上げ店へお持込み頂くか、お客様ご手配で当社へ商品をご送付頂く「持込修理」となっております。保証規程による修理対象の場合は、修理完了後当社負担にて商品をご返送申し上げます。
- 初期不良の場合は、当社にて商品を引き取り、修理又は交換後、お客様へお送りしますので、お買い上げ日を証明する領収書や送り状などのコピーを商品に添付して頂きますようお願い申し上げます。
- 修理等のために、製品を当社へお送り頂く時には、製品やアクセサリーを収納していたケースをご利用下さい。薄型ですから、日本郵便のスマートレターで、経済的にお送り頂けます(2017年5月現在料金:¥180)

＜例外規程＞

下記の場合は、保証期間内であっても、有償修理又は修理対象外となります。

- 保証書及び、送り状や領収書の提示がない場合。
- 取扱説明書に基づかない不適切な取り扱いや、定期的なお手入れ及び適切な保管を怠った場合、落下や衝撃による外的要因による故障。純正品以外のシリコンドームや空気電池を使用された場合。
- お客様による改造・加工・修理が原因の故障。
- 本品のシリアルナンバーを改変、抹消された場合。

推奨事項・用品

●保証申込書を必ず送り、保証書を受領

購入後2週間以内に保証申込書を当社に送付。受領後、保証書及び消耗品、アクセサリーに関する案内を当社よりお客様に送付。

●両耳装着を推奨

音は両耳で聴くのが自然なので、両耳装着を推奨。故障・メンテナンスの際にも2個あると便利。

●消耗品備蓄

空気電池・ソフトドーム・クリーニングブラシ・乾燥剤は消耗品。手元に常に予備を備蓄。

●便利なアクセサリー

●乾燥剤・乾燥密閉容器:

補聴器を効率的に乾燥。乾燥容器と共に補聴器を長持ちさせる必需品。



●Ex.マグ ライト付拡大鏡:

両手が自由に使えるスタンド式。

●EX.補聴器用 乾燥・UV消毒器:

ご自宅で本体を乾燥・消毒出来る乾燥器。

●手元スピーカー:

テレビの音を手元で拡大、聞きやすくする。パイオニア製品。

●バッテリーチェッカー:

バッテリー残量計。

●収納ケース:

本体とアクセサリーセットを収納、携帯に便利。メンテナンスや修理のため、メーカーへ送る時に利用。

仕様

	YタンゴPro	YタンゴGo
一般的名称	耳かけ型補聴器 (厚労省認可の医療機器)	耳かけ型聴音補助器
販売名	Yタンゴ Pro	Yタンゴ Go
管理医療機器番号	認証番号: 227AGBZX00024000	
90dB最大出力音圧レベル	113dB±4dB	106dB±4dB
最大音響利得	42dB±4dB	33dB±4dB
対応難聴者の程度	軽・中度難聴者	
電源	空気電池:型番PR41(1.4V)	
外形寸法(約)	本体/13.2×3.9×4.9mm、 電池ケース/25.3×6×15mm	
質量(約)	本体/0.5g、電池ケース/1.4g(電池無し)	

●付属品(Pro・Go共通):

●テスト用空気電池/型番:PR41(312) 1パック(6個入) ●シリコンソフトドーム(クローズ型S/M/Lサイズ各1個) ●収納ケース ●乾燥剤2個 ●拡大レンズ ●クリーニングブラシ ●取扱説明書(本書) ●添付文書(別紙、YタンゴProのみ) ●保証申込書
(クリーニングブラシは電池取り出しスティックとしても使えますので、2017年5月以降の製品には、原則として電池取り出しスティックは付属していません)

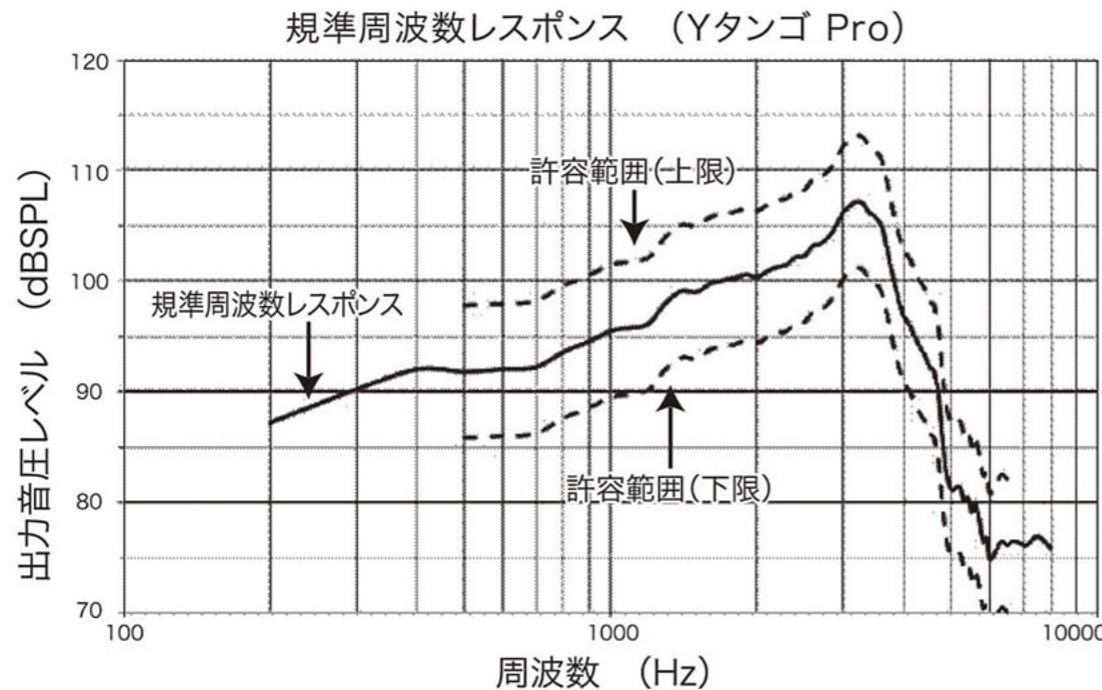
※ 本仕様は改善や改良のために予告なく変更されることがあります。

※ 包装やカタログの色と実物の色とは、印刷の都合により異なることがあります。

©2016-2017 Copyright by METEX All rights reserved.

本書の一部あるいは全部を無断で転載または複写(コピー)することを禁止します。

JIS C5512:2015 8.4項による
規準周波数レスポンス(Yタンゴ Pro)



特性・性能又は機能に関する項目(Yタンゴ Pro)

番号	項目	仕様(定格)
1	使用電池	空気電池 PR41(1.4V) 1個
2	電池電流	1.0 mA以下
3	規準周波数	1600 Hz
4	90 dB最大出力音圧レベル	規準周波数 113 dB SPL±4 dB
		500Hz 108 dB SPL
		ピーク値 124 dB SPL以下
5	最大音響利得(50 dB SPL入力時)	42 dB±4 dB
6	等価入力雑音レベル	27 dB以下
7	全高調波歪	500 Hz 2%以下
		800 Hz 2%以下
		1600 Hz 2%以下

Yタンゴを貴方の友として末永く、快適にご使用頂くために！

多くの方が補聴器にご不満をお持ちです。価格が高い、故障が多い、ハウリングがする、調整が面倒等々。

本製品は非常に高度で、精緻な精密電子機器です。お手入れ次第で、末永く、性能を維持して、快適にお使い頂けます。

お手入れは、本体と耳穴の両方です。お客様ご自身が、毎日こまめに、本体及びソフトドームを清掃し、又故障の原因となる耳掃除をしっかり行う事で、不具合や故障を大幅に防止、改善できます。耳穴の状態は耳垢によって大きく影響されます。補聴器をご使用の方は、適切な耳掃除が必要です。本取扱説明書に記載されている耳掃除と、本体及びソフトドームのお手入れ方法を参考に、本機の状態を良好にお保ち下さい。

YタンゴProは管理医療機器認定品ですから、今後ご使用者にお知らせをお送りする必要があります。ご購入後2週間以内に、必ず同封の保証登録書にご記入の上、当社宛お送り下さい。受領後、当社より保証書及び消耗品・アクセサリーのご案内をお送りします。

快聴クラブにご入会下さい

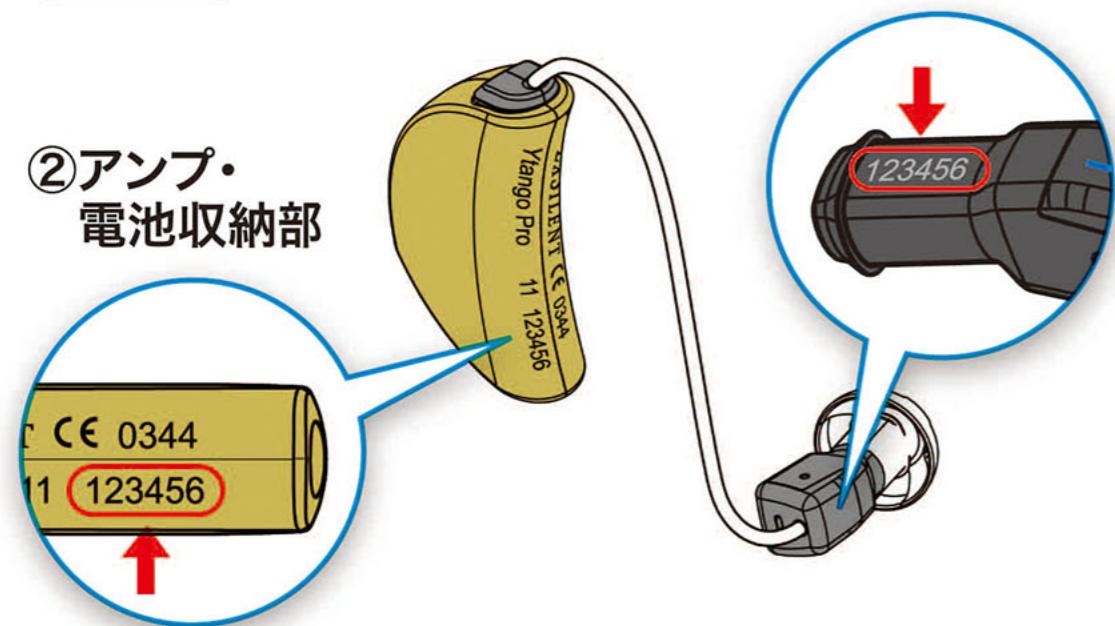
本機を末長く、より快適にご愛用頂くためには、ご自身によるお手入れに加え、専門家による専用機器を使った点検・保守がとても効果的です。

年に1～4回の専門家による点検・保守・維持プログラムをご提供する「メテックス快聴クラブ」にご入会下さい。詳しい資料は当社お客様ご相談室へご請求下さい。

シリアルナンバー

本機のシリアルナンバーは、①MaRiCモジュール部と②アンプ・電池収納部の2箇所にあり(図15)、6ケタの数字が印字されている。

図15



補聴器・聴音補助器のシリアルナンバーは、当社が保守・点検サービスを行ううえで、ご愛用いただくお客様と対象機器を紐付けて管理するための大変な情報です。保証申込書や快聴クラブ入会手続きの際もシリアルナンバーを記入していただく事になります。その際は上記方法で確認していただくようお願いします。

<???チェックリスト>

- 電池のシールをはがしてから、電池挿入前に3分待ちましたか？
- 電池は+と-を正しく入れましたか？
- 本体をソフトドームに正しく挿入しましたか？
- 装着前に耳掃除をしましたか？
- 本体を耳から取り出した時、本体とソフトドームをきれいにしましたか？
- 就寝時に本体を取り外しましたか？
- 使わない時は、電池ホルダーを本体から取り出しましたか？
- 使わない時に乾燥剤入りの収納ケースや密閉乾燥容器に本体を保管しましたか？
- 乾燥剤入り密閉乾燥容器に本体を収納する時、電池を別保管しましたか？
- 湿気や水気が本体に影響しないように注意していますか？
- 本体に汚れや傷がないか確認していますか？
- ソフトドームに汚れや傷がないか確認していますか？
- MaRiCモジュール部接続コネクタがアンプ・電池収納部としっかりと接続されていますか？
- 音量を大きくしすぎていませんか？

エクサイレント 補聴器・聴音補助器ラインアップ

エクサイレント社は、常に世界初、世界一を目指し、本当に使用者に喜んで頂ける、ユーザーフレンドリーな補聴器・聴音補助器を開発してまいりました。全てのモデルが、耳穴の奥までマイク・スピーカーを挿入できる超小型タイプ。より鼓膜に近づけることにより、音が直接鼓膜に伝わりやすく、自然な聴こえを楽しめます。

Qリーフシリーズ

世界最小クラスの超小型機。マイク・スピーカー・電池部を一体化、耳の奥まで入るため、まったく目立たず外見が気にならない。特許エアタップ方式で、耳から外さず音量調整可能。

Qリーフシリーズ
(実物大)



本体を入れる
シリコンケースは
クローズ型3個(S・M・L)、
オープン型(S)1個付属



QリーフPro(補聴器)

超小型ながら、最大音響利得46dBを達成、軽度・中度難聴者対応の高性能モデル。

QリーフGo(聴音補助器)

QリーフProの聴音補助器タイプ。エアタップ方式音量調整、超小型サイズなどQリーフProの基本性能はそのまま、最大音響利得33dBの使いやすいモデル。

Yタンゴシリーズ

超小型マイク・スピーカーユニットを耳穴の奥に、電池ユニットを耳の後ろに隠して分離、長時間使用を可能にした、耳かけ式タイプ。特許エアタップ方式で、耳から外さず音量調整可能。

耳へ挿入する本体は、Qリーフシリーズよりさらに小さくなっていますから、耳穴の小さい方におすすめ。

Yタンゴシリーズ
(実物大)



YタンゴPro(補聴器)

最大音響利得をYタンゴGoより9dB增幅した軽度・中度難聴者対応の高性能モデル。エアタップ方式で4段階音量調整可能。

YタンゴGo(聴音補助器)

YタンゴProの聴音補助器タイプ。

パイオニア 補聴器・聴音補助器ラインアップ

音響の名門パイオニアだからできた、生活様式に合わせた聴こえを実現する高音質補聴器・聴音補助器。

フェミニミシリーズ(聴音補助器)

ウォークマンタイプのとても使いやすい聴音補助器。

フェミニミ M500 [当社独占販売モデル]

音のパイオニアが新開発した、聴きやすい・使いやすい、最新の声・音増幅器。パイオニア独自の技術で人の会話音域を増幅し、会話やTVの音声を自然な音でクリアに再現。マイクが耳元ですから、より自然な聴こえが楽しめます。



片手で簡単音量調整。



ポケットやバッグ等、中に入れて留められるクリップ付き。



音楽を聴くような感覚で、見た目もおしゃれに使用できます。



マイクが耳元だから、マイク部聴こえがより自然。

フェミニミ M700

ウォークマンタイプのステレオ聴音補助器。マイクが耳穴の横に配置されているので、自然な聴こえが楽しめます。



充電器付属
(充電時間:約1.5時間)



ゴールド



ピンク



ブルー

フェミニミ M800

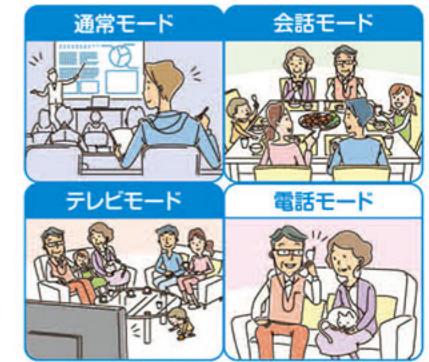
フェミニミ初のデジタルモデル。会話をよりクリアに、より聴きやすくしました。通常・会話・テレビ・電話の4モード切替機能が追加。



ゴールド



ホワイト

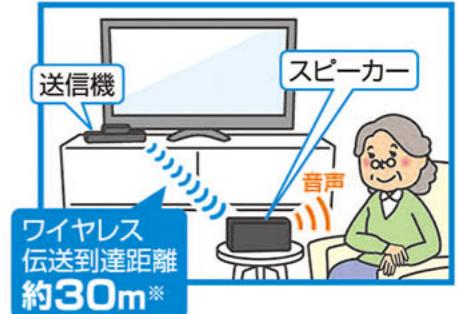


フェミニミ ワイヤレススピーカーシステム 快テレ君

テレビの音量をあげずに、手元でご自身にあった音量調節ができるワイヤレスステレオスピーカーシステム。家族と一緒に音量をあげずにテレビが楽しめます。



送信機



送信機

スピーカー

ワイヤレス伝送到達距離
約30m*

スピーカー

MEMO